飯塚市議会議員

# えぐち徹 活動報告！

情報発信第 62 号　2022 年 1 号

〒820-0001　飯塚市鯰田 2525-159

TEL ＆ FAX　0948-24-9196


開設当初から「ギャンブルだからやめるべき」という方もおられるオートレース。
それでも、「稼いで市に貢献するために」として開設され、今まで続いてきました。
しかし、そのオートレースに大きな分かれ道が出てきました。
きっかけは、メインスタンド建て替え計画です。耐震診断の結果、問題があることなどから総額３６億円使って下の写真の赤枠の部分を建て替えると言うのですが・・・
下の写真に書いているように、第２スタンドや選手宿舎も耐震診断の結果、問題があることがわかっています。選択肢は次の３つです。

**1　メインスタンドや選手宿舎などを建て替え続けて、市に長い間、お金を入れない。**
**2　メインスタンドは耐震改修など最低限に抑えて、なるべく早く市にお金を入れる。**
**3　右の一番下に書いているように、レースをやめて住宅や工業団地など他に使う。**

私はしっかり試算した上で２を選びたいと思います。あなたならどうしますか？

上：レース場入り口

下：右メインスタンド
奥が第２スタンド

詳しくはコチラへ

簡単なアンケートにご協力を！

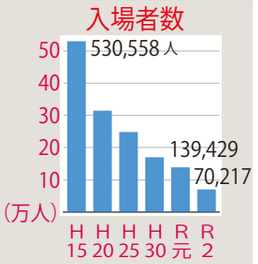
## メインスタンド建て替えをやめる７つの理由

**稼ぐため 市に貢献するためのオートレースじゃないの？**

財源確保のためにはじめたオートレースですが、平成１０年以降、２３年間も市の財布にお金を入れていません。
民間委託してやっと累積赤字が減ってきましたが、ここでスタンドを建て替えると、また借金。更に２０年、市に貢献できません。
毎年１億円でも市に貢献したら、コロナ支援や通学路のガードレールや虐待対策などが大きく進められます。

**下がる一方の 入場者数 と売上げ**

レース場の入場者は、平成１５年度５３万人から昨年は７万人と激減。
今の売上げの多くは、ネットや電話投票で、レース場での売上げは、３％に過ぎません。
また、増えつつあるミッドナイト（深夜）開催も無観客でレース場を利用しません。




**高すぎる建設費 36億稼ぐのに 200年？**

レース場入場者から得た利益で３６億円を稼ぐには何年？との私の質問に市の答えは「２００年。」 びっくりしますよね。
これだけで、やるべきことでないのは明白です。投資するなら売上げの大きなネット対策にするのが経営の基本でしょう。

**これからもお金かかるのに 経営計画がないってあり？**

なんと飯塚オートには、経営計画や施設改善計画はないとのこと。
今後も選手宿舎や第２スタンドの改修が待っているのにです。
民間だったら、ありえません。銀行はお金を貸してくれませんし、社内でも通用しません。経営感覚がなさすぎです！

**耐震補強なら １億４千万円！**

耐震補強だけなら１億４千万円でできます。（市が既に設計済み）
快適なレース観戦とまではなりませんが、耐震の問題はこれでクリアに。この金額＋アルファくらいなら、現実的だと思います。

**オートレースはこの先どうなる？ 電動バイク？**

世の中は大きく変わってきており、ガソリンエンジンがなくなるのも時間の問題と言われています。その時オートレースはどうなるのでしょうか？雲行きが怪しくなっています。

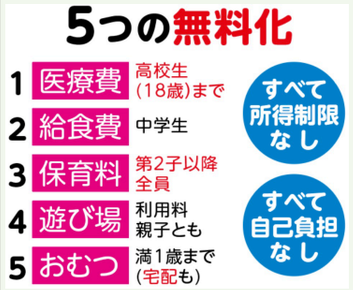
**いっそレースやめて住宅地や工業団地にしたら？**

いっそのこと住宅地や工業団地にした方が、市の財源に貢献できるかもしれません。隣の鯰田工業団地とほとんど同じ広さのレース場。土地を売るだけで数十億円。それに固定資産税が毎年億単位で入るという試算もあります。

「飯塚のこと、政治のことを身近に感じてほしい」と思いメールマガジン「えぐマガ」（不定期）を配信しています。中央のＱＲコードもしくはパソコンや携帯から「メルマガ希望」とメールください。
お名前はなくてもＯＫ！　また、市政への不満・要望・提案など、あなたのご意見をお聞かせください。宛先は info@eguchi-tohru.com 。皆様からの声を議会質問や提案として市政に反映させていきます。

## これはすごい！明石の子育て政策

昨年２月末に起きた３児殺害事件からもうすぐ１年。どうすれば二度と起こさないようにできるのか、また虐待されている子どもを救えるのかをずっと考えています。
そこで、やっぱりここ進んでいるな～と思うのが、明石市の子育て政策。
なんといっても、市長の泉房穂さんのリーダーシップがすごい！
以前「清渓セミナー」にお呼びしましたので、その際のお話を中心を紹介します。
彼は市長選の時に**子どもを核としたまちづくり**という明確なビジョンを示し当選。
そして、市長就任後、左の５つの無料化など子ども政策の充実に大きく舵を切ります。




なんと**子ども部門の職員数は３倍、予算も２倍に！**
「こんなに増やして大丈夫？」という質問には「日本ほど子どもに冷たい国はない」、「泣いている子どもがいたら泣きやむようにするのが行政」、「無駄遣いをやめ、優先順位をつけるのが政治」とばっさり。
無料化に所得制限をしないのも「親に金があろうがなかろうがみんな明石のこどもだから」と明快です。

その姿勢が浸透したのか「２人目を生むなら明石市」と周辺から子育て世代が引っ越してきて、右図にあるように人口が増え、にぎわいが戻り、税収が上がり、更に政策が充実するという好循環で市民も満足！

虐待についても、「子どもの貧困は政治の貧困」、「ネグレクトは家庭だけでない。行政や政治もネグレクトしていないか。」という言葉は、参加者の心にグサリと突き刺さりました。
他にも児童相談所を設置したり、民間団体との協働も進めており、親子を地域が支える・見守る体制が明石市では整いつつあります。「目の前でおぼれている市民を助けるのに国に許可を求めるか？まず助けるのが自治体の仕事！」と泉市長。
子育て支援策を進めるのは、虐待予防でもあります。飯塚市でも、二度と悲惨な事件が起きないように、もっともっと子育て支援に力を入れなくてはなりません。

**←ぜひ動画をご覧ください！説得力抜群です。**
2020 年 9 月 2 日アベマプライム
左のＱＲコードからどうぞ。
著書も複数あります。　→
こちらもおススメです。

## メルマガ登録↓

docomo
au & Softbank
友だち追加
twitter
facebook

## コロナ支援窓口・相談窓口のご案内

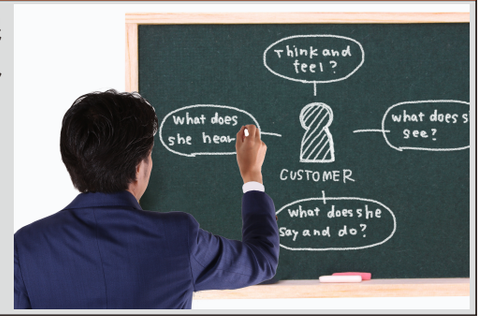
またやってきたコロナの波。もう勘弁してとお悩みの方もおられることでしょう。
以下に一部の相談窓口等をあげます。参考になれば幸いです。

| | |
|---|---|
| 生活費等でお困りの方 | 市生活資金相談窓口　0948-22-5500（内線 1922） |
| 事業資金等でお困りの方 | 事業者向け経済支援相談窓口　0948-22-5500（1923・1924） |
| 家賃等でお困りの方 | 市生活支援課総務係　0948-22-5500（1203） |
| 生活保護について | 飯塚市福祉事務所（生活支援課）0948-22-5500（1203） |
| 労働問題で相談したい方 | 福岡労働局特別労働相談窓口　092-411-4764 |
| 様々な悩みを相談したい方 | よりそいホットライン　0120-279-338 |

上にあげた以外にもいろんな支援窓口や制度があります。決して一人で悩むことなく、お気軽に相談ください。

## 出前講座＆市民相談やります！！

地域での困りごとや市政への苦情、その他市民相談をいつでも受け付けています。また「これどうなっているの」といった質問でもＯＫ！
時間さえ合えばお一人でも伺いますので、ご自宅や近所の公民館にお気軽にお呼びください。
【連絡先】
電話・ファックスは　0948-24-9196 から。
メール・LINE でも受け付けます！




## ～えぐち徹のプロフィール～　＆　アクセス

- ●昭和 41 年（1966 年）1 月 23 日飯塚市柏の森生まれ　５６歳
- ●立岩小・飯塚一中・嘉穂高・横浜国立大学教育学部を卒業
- ●平成４年より飯塚市役所勤務。教育委員会生涯学習課・総務部庶務課・会計課勤務を経て平成 12 年２月退職。
- ●平成 12 年４月より飯塚市議会議員（６期目）
- ●福祉文教委員会・議会運営委員会
- ●ふくおか県央環境広域施設組合議員他
- ●政党：無所属

えぐち徹　検索

http://www.eguchi-tohru.com　mail：info@eguchi-tohru.com

【サポーター募集！】不定期に発行している活動報告は、新聞折込や、応援して頂ける方々のご協力などで皆様へお届けしています。「近所だったら配ってあげるよ！」「店に置いてあげる」という方、ぜひ江口までご連絡ください。政策サポーターも募集中です！

【水道事業10年間の委託に】12月議会で浄水場の運営管理や料金徴収業務を１社に10年間委託できるようになりました。しかし、この業務は分割していくと市内業者でできることが多くあります。そういった点などからこの議案には反対しました。

【Children First FUKUOKA】児童虐待を少しでも防ぎたいという思いで、有志の方々とともに児童虐待防止のための団体「Children First FUKUOKA」（チルドレンファーストふくおか）を立ち上げました。学習会を行うほか、自分たちできることをやっていくこととしています。一緒に活動していただける方、支えてくれる方募集中しています！　詳しくは江口まで！